

〔海況概要〕

今週の本県近海の表面水温は、１９～２２ 台を示し、平年並み～やや低めでした。

〔漁況概要〕

- 中小型まき網---西彼地区では、マイワシなどが１日１統当たり２６トンの水揚げで、前週の２．４倍（前年並み）。北松南部地区では、マサバなどが１日１統当たり２０トンの水揚げで、前週並み（前年並み）。
- イカ釣----スルメイカは対馬東岸地区では、１日１統当たり７kgの水揚げで、前週並み（前年を下回った）。壱岐勝本地区では、１日当たり６７kgの水揚げで、前週の７４％（前年を下回った）。ケンサキイカは対馬東岸地区では、１日１統当たり７４kgの水揚げで、前週の２．６倍（前年を上回った）。壱岐勝本地区では、１日当たり３７４kgの水揚げで、前週を上回った（前年を下回った）。五島奈留地区では、１日１統当たり４kgの水揚げで、前週の６７％（前年並み）。
- 定置網----五島有川地区では、マアジなどが１日１統当たり２８５kgの水揚げ。五島魚目地区では、カンパチなどが１日１統当たり１６５kgの水揚げで、今期の漁を終了した。対馬西岸地区では、ブリなどが１日１統当たり１４６kgの水揚げ。対馬東岸地区では、ヒラマサなどが１日１統当たり５７１kgの水揚げ。
- 一本釣----野母地区では、マアジが１日当たり１６kgの水揚げで、前週の１．５倍（前年並み）。

〔日本海スルメイカ情報〕

今期（６／５～６／１０の６日間）の沖合イカ釣（船凍船）は、北太平洋のアカイカ漁操業、及び日本海スルメイカ出漁。

沿岸イカ釣（氷蔵船）は、壱岐・対馬及び山口沖～山陰沖～能登半島沖～佐渡沖～山形沖で操業。

鳥取県西部（沖合船）は、５日延１６隻、総計１，０４３箱、１航海最高１７２箱、平均６５．２箱。スルメイカ（２０～４０入）１，０３８箱、ケンサキイカ（入合わせ）５箱の混獲となった。

（漁業情報サービスセンターより）

〔お知らせ〕

漁海況週報や漁海況通信は、長崎県庁ホームページ「地方機関 総合水産試験場」の「漁海況情報」からご覧いただけます。

<https://www.pref.nagasaki.jp/section/suisan-shiken/index.html>